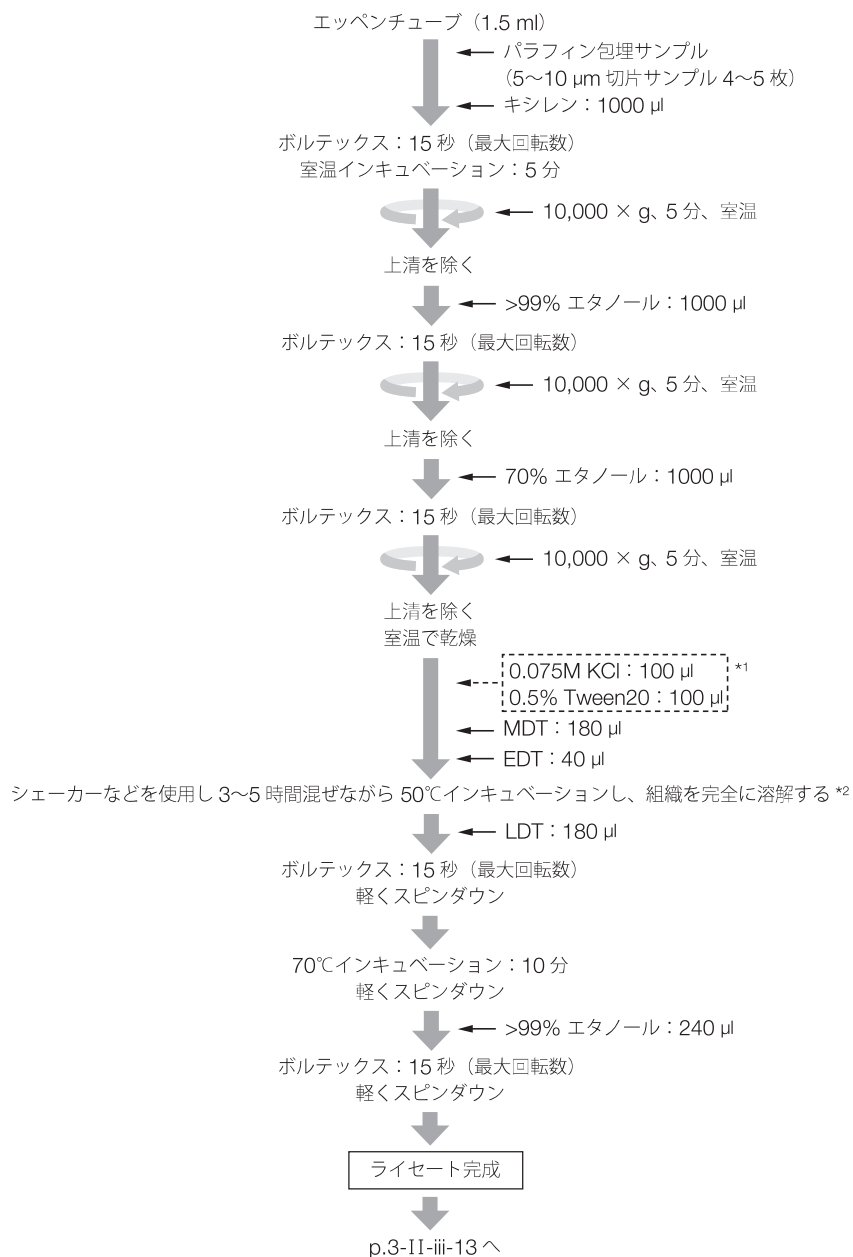


DA-c-8

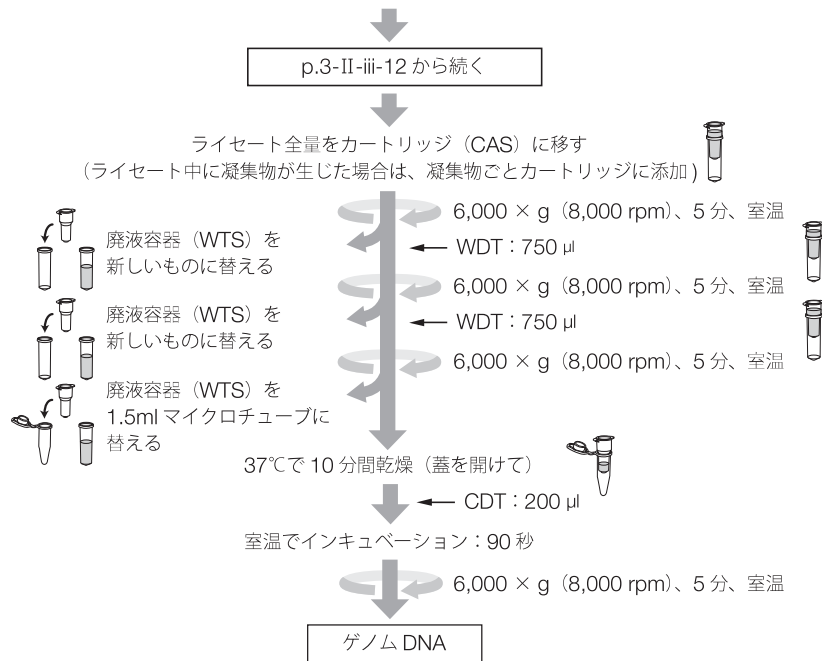
パラフィン包埋サンプルからのゲノム DNA 抽出

プロトコル



*1 組織によっては、これらの試薬の添加で収量が増します。

*2 硬組織の場合には、EDT の増加により収量が増します。一洗溶解操作をすると収量が減ることに注意してください。



結果

■ 電気泳動図

データなし

■ ゲノム DNA の収量

サンプル	癌 1	癌 2
QuickGene	1.43 μg	0.58 μg
スピнкаラム法 (A 社)	1.36 μg	0.44 μg

■ タンパク質の混入 : A260/280

サンプル	癌 1	癌 2
QuickGene	1.99	1.90
スピнкаラム法 (A 社)	1.98	2.41

■ カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

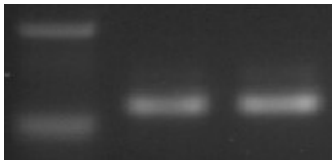
■ その他

● PCR

QuickGene SP kit DNA tissue および A 社キット (スピнкаラム法) を用いてパラフィン包埋癌サンプルから抽出したゲノム DNA で、*β-actine* 遺伝子の検出を行った。

癌 1

M スピнкаラム法 (A 社) QuickGene



いずれのゲノム DNA からでも *β-actine* 遺伝子を検出できた。

技術協力：日本医科大学 外科学講座 原田 明希摩様

共通プロトコルサンプル

データなし